

五泉市・阿賀野市・阿賀町一般廃棄物処理施設整備推進協議会
平成27年度第5回検討委員会議事録

日 時：平成28年2月15日(月) 午後2時00分～午後3時30分まで
会 場：五泉地域衛生施設組合 大会議室
出席者（敬称略） 委 員：吉田新平、小柳隆、鈴木良民、神田隆一、矢部秋子、武藤浩行、渡邊景子、 浅間信一、北村藤雄、清水常義、佐藤東市、植木誠、清野政勝、猪俣誠一、 中野敬一、阿部信裕、波田野貞夫、黒野弘靖、熊倉政一、寺田亨、関川嗣雄、 星利昭、皆川秀男（委員27名中23名の出席） 事務局：清野室長、風間係長、肥田主任、土屋主任、松田主事 関係者：（専門部会）今井俊昭、菅井裕冶、井上也寸志、木村隆 八千代エンジニアリング(株)から1名
議 題：1. 平成27年度第4回検討委員会の確認について 2. 提言書について 3. その他
議事進行 1. 開会 本日の会議には、関係者として専門部会である2市1町の担当者と委託コンサルタントの同席、ならびに1名の傍聴を認め、取材のための写真撮影を委員長の挨拶まで許可した旨を説明し、出席の委員から了解を得た。 2. あいさつ 黒野委員長 3. 議事 (1)第4回 検討委員会の確認について 議事録により、前回の検討委員会の会議内容を確認した。 (2)提言書について 副委員長（A） ライフサイクルコストや二酸化炭素（以下「LCC」、「LCCO ₂ 」と言う。）の問題は全てに係る問題だからこれまで話をしてきたのに、提言書の「3. 広域化に伴うごみの分別区分について」に、「収集運搬業務については、広域での対応ではなくこれまでどおり市町の業務となることから、検討委員会では詳細な検討をしていません。」とある。それでは、検討委員会でこれまで話してきたことは一体何ですか？ 事務局 ごみの減量化やリサイクルを推進すると収集・運搬コストが増える、施設の場所によっては直接搬入する人の負担が増える、また分別区分を増やすと収集回数が増え、収集車からの二酸化炭素排出量も増える等の意見がこれまでにありました。そこで、

2市1町の収集・運搬費が、広域処理施設1カ所に集約する場合と中継施設を経由する場合とで、どれだけ費用に差が出るかを試算しているところです。また、分別区分を増やすことによって単純に収集回数を増やすのではなく、収集ごみの組み合わせを検討して収集回数を同じにするなど住民負担を考慮する必要があるので、提言書には書いてありませんが、検討委員会で検討した分別区分をベースとし、建設候補地が決まった段階で、収集・運搬コストを考えた中で中継施設の運用等について市町で検討することにしています。

副委員長（A）

まだ焼却施設の場所が決まっていない状態だが、焼却施設を山奥に整備しなければならなくなったときに、その輸送コストがそれぞれの自治体にかかることになれば、ごみの量が多い自治体から運ぶことによるLCCは非常に大きくなる。だから、きちんと検討すべきであり、これを各自治体任せにしておくことに問題がある。どこに、どのような焼却施設を作るとコストが一番かからないか？ということ的前提を考えなければならない。阿賀町から運ぶごみ量は少ないが、量の多い五泉市のごみを阿賀町に運ぶことは考えられない。相当量の収集車が動くことになるので、そのコストを計算しておかなければ提言することはできないと思う。例えば、2市1町それぞれの重心地までは各自治体で対応し、重心地から焼却施設までは2市1町共有で管理していく形を取るなど、ごみをどうしたら最も効率よく処理することができるかを考える必要がある。各自治体の問題だから方針を検討しませんということではない。運搬・搬入まで全てがコストであり、全てがLCC_{CO₂}に換算されることなので、私たちは検討する必要があると思う。収集・運搬は各自治体が考えることなので検討しませんということでは、検討委員会として無責任な提言でしかないと思う。

～「休憩」と言う者あり～

委員長

一旦休憩します。

（ 暫 時 休 憩 ）

委員長

再開します。

事務局

この提言書の「3. 分別区分の統一について」の部分は、分別区分についての話になります。阿賀野市ではプラ製容器包装を分別しているが、五泉市・阿賀町では焼却しているという違いがあるので、統一するようという提言をしています。そこで、収集・運搬の問題を含めたときには、プラスチックを分別することが本当に適当なの

かという問題や、例えば阿賀町に焼却施設を作ったとしたら五泉市や阿賀野市から大量のごみを運ぶことになり経費がかかるという問題が出てきますが、この問題は建設候補地を選定する中で収集・運搬の試算を行い、中継施設から先は広域共同処理とするか、全てを市町単独で行うかなどを含めて十分検討します。分別区分の話と収集・運搬にかかる建設候補地の場所の話とは別な問題として考えていただき、分別区分の提言の中に「収集・運搬については検討委員会では検討していない」という文章が入っているのが悪ければ、この部分は削除したいと思いますがいかがでしょうか？

副委員長（A）

分別区分だけで説明されたが、収集・運搬の話は可燃ごみや不燃ごみに関係なく全てのごみに関わる問題だ。なぜリサイクルの問題だからといって、分別区分の話の中だけに収集・運搬の話が出てくるのか？提言書の中に収集・運搬業務についての項目を設けてもいいのではないか？収集・運搬を度外視していることに問題がある。文章を削除してほしいということではなく、これから収集・運搬についても考えてもらいたいという提言にしなければ、提言する意味合いがないと思う。

事務局

収集・運搬に係る LCC や LCCO₂などを十分考えた上で、建設候補地の場所を選定するようにとの提言を入れた方がいいということでしょうか？

副委員長（A）

建設候補地ならびに収集・運搬業務についても、提言書に入れるべきだと思う。

委員（A）

収集業務については、どの市町でも作業体制は変わらないでしょう。一番気になるのは各市町の運搬経費が増えることだと思うので、そういう問題をきちんと提言すべきだということですね。私も時間があれば検討したらいいと思う。特に阿賀町は運搬経費が増えることになるだろうから、それをきちんと示すのが検討委員会なのかも知れませんね。

委員（B）

提言書の「1. はじめに」のところでは、広域化によるコストや二酸化炭素の排出量を比較して広域化の必要性を確認したとおおまかに書いてあり、「3. 広域化に伴うごみの分別区分について」のところでは細かく書き過ぎている。しっかりと説明するのであれば、「はじめに」の段落でも丁寧な説明をしておかないと、この提言書は整合性が取れなくなっていると思われる。

～「休憩を取ってください」と言う者あり～

委員長

一旦休憩します。

(暫 時 休 憩)

委員長

再開します。

事務局

提言書の3.の部分については、皆さまからのご意見を受けまして修正し、収集・運搬のことについて提言書に入れたいと思いますが、検討しなさいという提言がいいのか、今後の課題として検討を要するとしたほうがいいのか伺います。

副委員長 (A)

今後の課題の中に「収集・運搬業務」としての項目を設けるべきだと思う。

委員 (C)

今後の課題として、「建設地が決定した後、収集・運搬の部分に関して各市町の負担に大きな開きが出ると思われるので、その負担を加味して検討してもらいたい。」としたらいいと思う。建設時の負担なのか運営開始後の負担になるかはわからないが、阿賀町は収集・運搬経費が多くかかるので、その分は少し減免するようというニュアンスと言うか含みを入れておいてはどうかと思う。

委員長

他にご意見ありませんか？特になければ、今後の課題ということでお考えいただくようお願いします。

事務局

それでは、今後の課題として、収集・運搬業務について、焼却場の候補地が決まった後、中継施設の必要性やその経費負担など検討が必要であると修正しておきます。

委員長

他にご意見ありませんか？

委員 (D)

今後の課題にある「ごみ処理の有料化」について、無料だったものがいきなり有料になると驚かれたり、経済的負担が多くなったりする。阿賀野市は一定量までは無料という制度である。その一定量をどのくらいの量にするかは検討課題となるが、いきなり有料とするのではなく段階を踏んでいくといいと思う。新潟市ほかにも有料で、市

民から納得されて取り組まれ効果も確かに出ているけれど、この検討委員会で無料のところを有料にするとはせず、この委員会以外の色々な人の意見を踏まえたほうがいいと思う。

委員（E）

この提言書では、中間処理施設の規模や最終処分場の容量など、定量的な提言はしなくていいのか？

事務局

D委員の有料化に対する意見について、今後の課題として「可燃ごみの有料化を進めることが望ましいと考えます」という事務局案を提示しましたが、「有料化について検討するように」としたらいいか、方法論は別として、「有料化については今後の課題である」としたらいいかを再度伺いたい。

また、E委員の定量的な提言についての意見について、検討委員会の中では焼却炉は131 t/日の規模が、最終処分場は63,000 m³の容量がそれぞれ必要という話をしましたが、現時点でのごみの将来予測から積算したもので今後変わってくる数値でもあるので、そのような定量的な提言はしていません。ただし、並行して進めてきた広域化実施計画の2年次の中には、検討委員会で提示した施設規模など定量的な部分については計画としてまとめています。

委員長

D委員に確認しますが、ごみの有料化のところ、具体的に事務局案のどの部分に留意したらいいか伺います。

事務局

先ほどのD委員の意見ですが、有料化を進める上で取り組んでほしいという意見なのか、有料化については検討が必要だという意見なのかを再度お聞かせください。

委員（D）

ここに「可燃ごみの有料化」と書いてあると、国もそう言っているし、皆が望んでいるのかと勘違いされてしまう。住民にとって有料化は切実な問題なので、有料化をする場合には段階を踏んで進めてもらいたい。可燃ごみを減らすことが目的であり、無料か有料かということではなく、様々な方法を考えていただきたいが、一定量までは無料という現在の阿賀野市の制度はいいと思う。

事務局

提言書には可燃ごみについて触れていますが、「ごみの有料化については十分検討するように」と修正したいと思います。

委員長

他にご意見ありませんか。なければこの議題は終了します。
ここで、一旦休憩を挟みます。

(暫 時 休 憩)

委員長

再開します。

事務局

提言書案の修正について、再度検討委員会を開催するのではなく、委員長・副委員長に修正後の内容確認を一任していただき、了解を受けた後に検討委員会の皆様にも配付しますが、提言書を協議会会長に提出するという方法を取りたいと思いますがいかがでしょうか？

委員長

事務局からの提案についていかがでしょうか？

～「いいと思います」の声～

委員長

ありがとうございます。それでは、そのようにお願いします。

事務局

それでは、委員長・副委員長から修正の確認をしていただいて、提言書をまとめていきます。

(3) その他

委員長

議題(3)その他は特にないようなので、進行を事務局にお返しします。

事務局

以上で本日の検討委員会を閉会します。ありがとうございました。

4. 閉会